



最上川 逆白波のたつまでに
ふぶくゆふべと なりにけるかも
斉藤茂吉（白き山より）

提供/飯豊町



会長就任あいさつ

東京飯豊会会長 高橋正孝（中津川）

会員の皆さん、各分野においてご活躍の事
お慶び申し上げます。

昨年の45周年記念総会后、役員会決定により
会長に就任させて頂きました。光栄な事ながら、
力量不足に身の細る思いでございます。

前会長谷本氏は皆様から、お人柄を慕われ、
永年ふるさと会活動を体現されました。私も
歴代会長のふるさと会に対する精神を受け継ぎ、
当会目的実現に微力ながらも、努力する事をお約束
申し上げます。つきましては会員および役員の皆様、
そして町当局と各分野の皆様のご指導ご協力を心から
お願い申し上げます。

昨年は45周年記念総会にふさわしい催し物
として、懐かしく感動的な椿地区の涌沼神社

の獅子舞を、神社関係者はじめ町当局のご協力により
実現出来ました。さらに、45周年記念号として充実した
会報「東京いいで会」の発行に努力いたしました。

今総会時は「故郷の民謡を中心とした楽しいショー」
を催します。本年も会員皆様の年会費を大切に生かし、
新たな体制での会報「東京いいで会」をお届けする事
が出来ました。

故郷を離れる人と、ふるさとを思う心がある限り、
東京飯豊会のエネルギー（想い）は不滅永遠のものと
存じます。

継続発展のため、皆様の積極的ご参加、ご協力を
繰り返しお願い申し上げます。

終りになりましたが、皆様のご健康とご発展を
ご祈念申し上げます。

ふるさとだより

◆飯豊橋開通

安全性と利便性が増す

四月十二日、町道飯豊川西線飯豊橋開通式が行われました。この工事は、県代行業業として平成十四年に着工し、平成十八年三月に完成しました。橋の完成により、幅員が拡張され安全性と利便性が増しました。



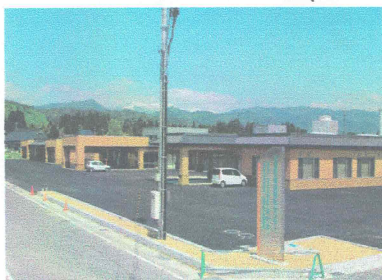
開通式終了後、山口稔さん家族（椿）、遠藤政男さん家族（添川）による「親子三代渡り初め」が行われました。飯豊橋は、椿地区と添川地区を結ぶ橋であり、山口さん、遠藤さんは、両地区の代表家族として選ばれました。また、毎日通学で橋を渡るといふ高橋諒子さん（添川小五年）も渡り初めを行いました。

◆健康福祉センター完成

住み慣れた環境の中で

生活できる喜びを

「飯豊町健康福祉センター」が、椿地内に完成しました。この施設は、介護老人保健施設「美の里（みのり）」、



国保診療所、国保総合保健施設を併設したもので、それぞれの施設が六月（一部五月）から業務を開始しています。

◆全国鳴き砂サミットいいで

各地層の粒子を比較

全国鳴き砂（鳴り砂）ネットワーク総会、全国鳴き砂（鳴り砂）サミットが開催されました。全国より来町した会員・関係者約八十名を含め、約百二十名が参加しました。

◆飯豊中吹奏楽

東日本大会に出場

飯豊中学校が第四十四回山形県大会中学校小編成の部で、金賞に輝き、東北大会に出場し、金賞を受賞しました。さらに金賞に輝いただけでなく、東北で五校の東日本大会代表にも選出されました。東日本大会では銅賞を受賞しました。



◆いいで天文台

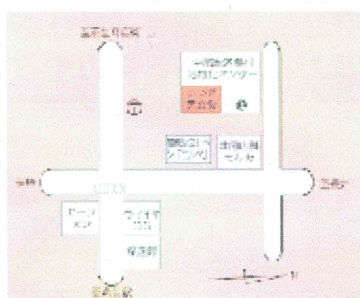
人間性豊かな人材育成と

交流人口の拡大へ

中部地区農村活性化センター敷地内に「いいで天文台」がオープンし

ました。総事業費は約四千五百万円。建物は、鉄筋コンクリート造り一部木造で、高さが約十一・八メートル、回転する円形のドームは直径五メートル、二階の観測室には、口径四十センチの主望遠鏡を設置。

また、一階の準備室には、モニターが設置され、実際に観測している天体をリアルタイムで映し出すことができます。観測室には、モニターが設置され、実際に観測している天体をリアルタイムで映し出すことができます。観測室には、モニターが設置され、実際に観測している天体をリアルタイムで映し出すことができます。



◆めざまの里カントート

一流の講師をお招きして

十二月二日～三日にかけて、町民総合センターを主会場に、めざまの里カントートが行われ、県内外から音楽愛好者約二百四十名が集まりました。講師は、作曲家池辺晋一郎氏、合唱指揮者栗山文昭氏、そして作詩家村田さち子氏の超一流講師。参加者は、合唱などの技術向上を目指し、それぞれの講義を熱心に聴講していました。

退任の挨拶

前会長 谷本 亮司 (椿)



ふる里の皆さん、昨年4月23日、東京飯豊会45周年記念総会には関係各位のお骨折りにより椿の涌沼神社の獅子連合会から25名が上京して下さい、会場内「獅子舞」を披露して頂き、その勇壮な舞に全員感動致しました。厚くお礼申し上げます。

5月末の役員会において会長交代を申し入れ、新会長を決めて頂きました。4年間の在任中、会の運営に役員の方々、町の関係者の皆さんには絶大なご支援を賜りました事を深く感謝致しております。新会長の高橋氏につきましても私事同様、今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願い致します。

皆様のご健康をお祈り申し上げ、会長交代の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

高齢化社会に生きる

近藤 和子 (中津川)

昨夏、65歳の誕生日を過ぎたある日、高齢者として健康診断を受けるように、そして健康手帳を持って受診するよにとの通知と介護保険は1号保険者として保険料を振り込むよにと、振込み通知を送ってきたのだ。

ショックでした。あーあ、もう高齢者の仲間入りなんだと強く意識させられたのです。いまでも現役で福祉の仕事をしており、いろいろな人生を歩まれた高齢者との出会いと別れも多く経験してきました。様々な生き方に接し、私自身の人生の教訓として学ばせていただきました。

現在4人に1人は高齢者といわれる時代になっていますが、15年後にはなんと3人に1人は高齢者の時代になるそうです。その頃の私はどのような生き方をしてるのでしょうか？イメージすることが出来ません。いま、中高年の団塊世代といわれる方達にも、高齢化の波がもう

すぐ来るのです。介護保険料の値上げ、医療費の自己負担金が2割から3割へ、18年10月に実施されました。それでも足りなくて消費税の値上げも待っているようです。あーあ、それなのに頼りの年金は年々目減りしていくのです。

安心した老後を過ごすにはどうしたらいいのでしょうか。それには、自分で自分を守っていくしかないのです。いまやその意識で健康ブーム。健康食品、健康スポーツ、ウォーキングにハイキングと中高年の方々大いに活動しているようです。勿論私もその健康ブームに乗っています。明るい老後は自分で守り、健康で豊かに過ごしたいと思います。



私の近況

今原 幸子 (手ノ子)



私は人との縁の不思議を感じています。二年前「植生の宿サークル」の地域の方より「カラオケ」に誘われました。

昼の食事になり食べた弁当の味は美味しかったのですが色合いが今一つでした。「折角楽しい美味しい食事なのに・・・」と料理を得意？とする私の心が疼き、少し出しゃばりかと思いつつ駄目でもともと「私ならもう少し色鮮やかに作れるのですが」と切り出してみました。

ところが待ってましたとばかり「実はそういう方を探していました」との返事。早速、毎週月曜日のお昼の食事を心を込めて作らせて頂く運びと成りました。献立を考えたり、材料を選

んだりやさやかながらの悩み、苦しみを楽しんでます。

自讃ですが少しずつ私のファンも多くなって、食べて下さる方におだてられ、支えられる喜びを皆様から戴いて居ります。

その仲間と一緒に月曜日に詩吟、日本画、ちぎり絵、中高年の体操、大人の国語を遊びを交えて楽しく勉強させて頂いています。その仲間の特技や知識の豊富な事に驚きながら私は、これからは助けられ謙虚にお付き合いに係わり合っ何時まで若々しく魅力ある生き方をして輝いて行きたいと思って居ります。

これも手ノ子という田舎で育つた、多くの素晴らしい仲間や友達が居てくれたお陰です。有難う御座います。

～いい出会いand飯豊愛～

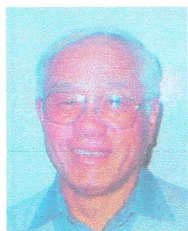
佐原 照子 (高峰)



このタイトルは以前に夫が飯豊会報に原稿をよせた時載せたタイトルと同じで、故郷大好き人間の我が家では大変満足しているネーミングですので再度登場させました。生まれ育った故郷は何にもまして忘れられない所、そして誇りに思う所。いろいろな出来事、幼い時に食べた物、そして人々。特に実家界限で遊んだ事等・・・この私の故郷へ「故郷ツアー」という機会が有り大切な人を飯豊町へ案内出来た事大変幸せに思います。そこで同行された金子慶子さんからのメッセージを頂きましたのでご紹介いたします。

こめ作りのお手伝い

国分 秀高 (萩生)



昨年の稲作りは、小学五年生を対象とし、都内の五校で実施されることとなり活動が始まりました。指導は山形JAおきたま青年部添川支部長勝見賢太郎様他五名で「東京飯豊会」へお手伝いをお願いされました。新宿区立落合第二小は谷本前会長、港区立芝浦小、江東区立深川小は深瀬君と私が担当することになり、新宿区立戸塚第一小、足立区立上沼田小は三人で担当する事となりました。初めは育苗箱に種まき、田おこし、田植と進み、夏休みに入ると子供達は当番制で水やりをして、苗も順調に育ち、八月には稲穂も出揃いました。そして、実りの秋を迎えて稲刈り、脱穀となり、子供達も自分の手で物作りが出来たことの喜びとお米が出来たことの感動、そして収穫できた良い思い出ができたのではないかと思います。そして、昨年も全国的に天候に恵まれて作柄も平年並みとのことでした。私も昨年、三月末で定年退職となり、五月、十月にふるさとに里帰りし、田植、稲刈りと四十二年ぶりの体験をしてきました。久しぶりの農作業でつらく、苦痛の連続でした。そして、農家の苦労の一端をかいま見たように感じました。これからの飯豊町の発展と町民皆様の御健勝と東京飯豊会のますますの発展を心よりお祈り致します。

里帰りバスツアーに参加して

金子 慶子 (大田区在住)



昨年夏も我が家のミニミニ花壇に、ピンク色で可憐な百合の花が一輪咲きました。「ほらほら、今年も山形の佐原さんの田舎の百合が咲いたよ」と家族に知らせては、五年前にお邪魔させて頂いた飯豊町の情景を今も思い出しています。知人として参加した私は、暖かい町の方々の歓迎に自分の田舎に帰った様な気持ちになり、すっぴんのんびりさせて頂いた事を思い出します。味わいのある郷土芸能や、干しするめで煮込んだ玉こんにゃくの味も忘れられません。周りを山に囲まれたのどかな風景が、どことなく自分の田舎(岩手)と重なっているのと、毎年咲いてくれる「どんでん平ゆり園」でいただいた一輪の百合の花に、もう一つの心の故郷ができたようで本当に良い機会をいただき感謝しています。都会暮らしの方が長くなった私にとってふるさととは元気の源です。私も飯豊会の皆さんの様に自分のふるさとを大切にしたいと思っています。～来年も可憐なゆりの花が咲くことを楽しみに～



おめでとう 日本一!!

「東京米物語」ー最優秀賞授賞

J A 山形おきたま

飯豊地区青年部添川支部

本紙寄稿(国分さん)の「こめ作りのお手伝い」にあるJ A 山形おきたま飯豊地区青年部添川支部(勝見賢太郎支部長)の皆さんが3年間にわたる東京の小学校での稲作体験・指導に取り組んでこられた活動を発表されました。「第53回J A 全国青年全国大会/主催 全国農協青年組織協議会」が2月14日 日比谷公会堂において開催され、置賜大会、県大会更に北海道・東北大会を勝ち抜き、栄えある代表(全国六ブ

ロック)として発表されました。大会では盟友(会員)の組織の活性化、拡大を図る解決の手だてとして「こめ作り」にける情熱と消費地・生産地を結ぶ架け橋となり、子供たちが収穫までの時間と喜びを共有する実践および飯豊町での農業体験交流など」が大きな感銘を与えたことでした。その結果、千石興太郎記念賞(最優秀賞)の大賞を授与されました。おめでとうございます。東京飯豊会の谷本前会長、国分副会長、深瀬幹事のお力添え並びに小学校の理解協力のもと、生徒のこめ作り学習の意気込みが実を結んだものと思います。今回のお手伝いも故郷飯豊町との絆を又一つ結ぶことが出来た活動でした。(東京飯豊会 新野記)

故郷雑感

勝見 祐市 (松原)



故郷を出てから五十余年、タイムトンネルを遡れば、想いは故郷へ辿り着く。目を瞑れば幼き頃の故郷へと誘う。山河変らねど、現在の近景はずいぶん変った。

松原に生まれ、育った私達には故郷のシンボルの様な文殊様、その参道下辺りは今その面影もない。

現在「道の駅」のある「めざみの里」の場所には生家の田圃の在った所でもある。目前には先祖の墓地があり、その側を通る道は歴史的にも古く江戸時代の大名行列、戊辰戦争の折には官軍が、そして幾多の旅人が通り過ぎて行ったであろう昔、松原宿があり、我先祖も「長門屋」なる旅籠を営んでいたとの事である。

今はその道を、何百台の車が往来し、又「道の駅」に停留して喧騒は絶える事がない。墓地下のご先祖様もさぞかし冥土でびっくり、ゆっくり眠ることも出来ないのではなかろうか。

「年々歳々人同じからず」とは言え、故郷の人々も移り変わった。少年時代、共に故郷の山河で遊び、語り合った友が後年飯豊町の町長となり、「東京いいで会」で出会うとは想像もしなかつただけに、感動も格別、友として誇りにも思っている。

確実に月日は流れた。そして変った。されど故郷は人々の想いを抱いて永久に残り続けるであろう。

物産展に参加して

村田 忠一 (川西町出身)

私の母は、添川・東山出身です。私が小学校に入学して間もなく病死し、妹二人は母の顔・抱かれた想いも無かったと思います。

東京飯豊会から東京で物産販売(めざみの里主催)があるとの連絡を頂き、懐かしくて2日間も通い、漬物や饅頭を買い、事務所や家族と食しながら田舎を偲びました。



「方言・話し言葉」

齋藤 ふみゑ (手ノ子)

みんなわかやっかー



なんじよでやった?(どうですか?)

あんばいわりい(具合が悪い)

どさいぐな?(どこへ行くの?)

汽車さ乗っていんぐ(汽車に乗って行く)

汽車がらおじる(汽車から降りる)

うだでごど(うっとうしい)

くたまだ(邪魔だ)

ままたけー(ご飯をたけ)

あんじゃも(あれあれ)

ねほだれつかず(馬鹿な事を言う)

つさあらう(顔を洗う)

あまえ(良いよ)

なにつかす(何を言うか)

しょってける(背負って下さい)

しょしい(恥ずかしい)

うっしょのえ(後ろの家)

かんます(かき回す)

わっさ(いたずら)

じっきに(直ぐに)

まっちえろ(待っていて)

なっしょ(苗代)

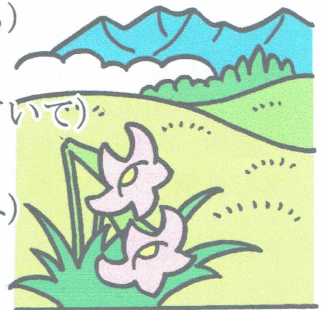
とがぐさ(遠い所へ)

まぶしい(眩しい)

やんだー(いやだ)

ほだほだ(そうだそうだ)

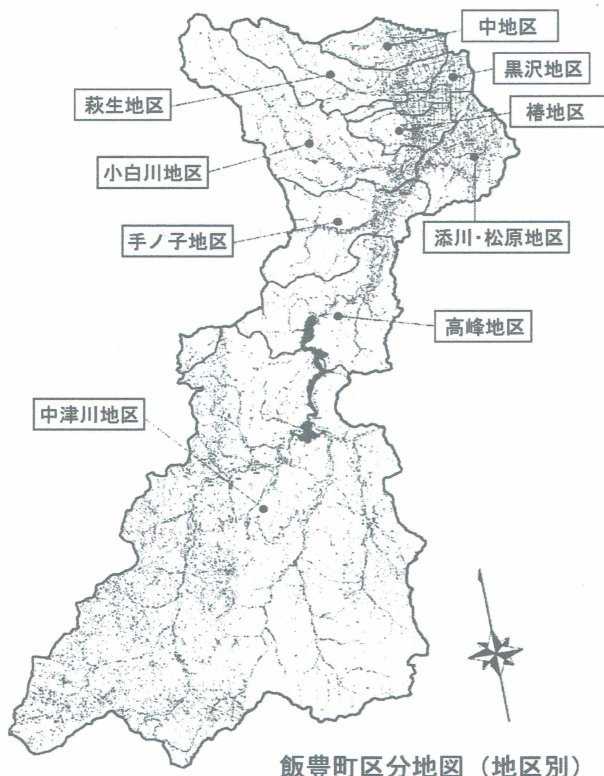
えどみず(井戸水)



「昔有りました」

馬ソリ 火吹き竹 もんぺ わたいれそでなし ねんねこ どんぶく かいまき マント ごむ短靴 わらじんべ わらぞうり わらふかぐつ

わがふるさと 山川 そして … 思いだして!!



飯豊町区分地図 (地区別)

小白川地区 佐原 利博(小白川)

天狗山の入口の十文字にある大きな鳥居。小白川小学校(手ノ子小の分校)に土俵が有った。学校の裏山(野山)から石器が見つかった。上郷地区で中学三年生迄の子供だけの獅子舞が有った。小白川(川の名前)で泳ぎ、魚を捕って遊んだ。8月お盆には念仏踊りが有る。

編集部からのお願い

総会は固苦しいものではありません。いっとき、故郷に想いをはせ、故郷を共有する友人・知人と集い語り合う機会です。ぜひお運びください。

次号に向け、会員の皆様からの原稿、故郷の思い出、生きてきたこと、日常の何気ない気付き、短歌・俳句などなんでも(600字程度)を下記までお寄せ下さい。

お待ちしております。

広報部長 新野 孝司

TEL&FAX: 045-481-4554

〒221-0862 横浜市神奈川区三枚138-23

事務局長 志田 義雄

TEL: 049-244-3940

〒356-1136 川越市下新河岸69-66

昔懐かしい場所

萩生地区

国分 秀高(萩生)

萩生のいわれ

牛を連れ山を下って来たところ牛が亡くなり埋め込んだ後から白い「萩」に似た花が生えて来た所からその場所が「萩生」と呼ばれる地名に成った。恩徳寺は弘法大師の高弟が開山し萩生城主3代国分光信によって萩生城二の丸跡に移された。諏訪神社4月29日「ひびせ」と呼ばれる春からの田畑作業の安全を祈るお祭りがあり、8月お盆前のお祭りでは村々を獅子が練り歩く。開催日は時節柄決まった日では無くなる。

椿地区

志田 義雄(椿)

飯豊中学校南側の山(横山)が冬のスキーのゲレンデ。今の飯豊橋付近がプール代わりの水遊び場。椿の中心部に映画館が有り上映の日にはお誘いの音楽が鳴っていて、小・中学校の映画教室で行ったものです。

当時娯楽の少なかった頃、白椿公民館(元椿小学校)のグラウンドで夏祭りの夜に開催される白鷹町・高玉芝居の人情話の芝居が懐かしく思い出される。

＝ 編集後記 ＝

- ◇ 穏やかな新年を迎えることが出来ました。昨年大雪、そして今年の暖冬と生活する者にとって戸惑いを覚える気候変動です。
- ◇ 本号は谷本会長から高橋新会長への交代、各地区出身者からの寄稿そして、感動の記憶「椿・涌沼神社の獅子舞」を紙上で再びということ写真特集を行いました。
- ◇ 総会の雰囲気を感じて頂ければ幸いです。ご家族を含め会話の一助としてもご活用ください。
- ◇ 今回 宮城、志田、井上、斎藤、新野が編集に携わりました。

平成18年度 年会費賛同者御芳名 (敬称略) 2006/7/24 現在

黒 沢 17名	井上七郎	梅津勝美	岡山悦子	勝又昭子	小林秀	佐藤忠志	佐藤留喜	島貫富栄
	高橋雅子	手塚照代	中根友利子	鳴海拓見	原田洋子	平山くに	峯村広義	村田しつ
	渡部隆							
小白川 24名	安部春次	安部厚一	石島サダ	石森浩子	伊藤長七	岩崎みよ	上田隆	大石亨
	太田節子	小野幸一	川添美代子	菊地健三	佐原政晴	佐原芳弘	平君代	高橋八郎
	田辺俊彦	為藤よしゑ	千葉マサヨ	舟山睦男	舟山吉次	溝呂木清治	吉田文伍	吉澤とみ子
添川松原 33名	伊藤憲子	宇田京子	梅津勲	遠藤啓次	遠藤清	小笠原吉次	小川節子	勝見俊秀
	勝見祐市	金原ちゑ子	小関こう	小松勇吉	斉藤良一	佐藤幸司	佐藤省吾	佐藤よね子
	庄子良子	鈴木孝男	高橋幸男	高橋はま子	田中とし子	中山みえ子	新野善行	二瓶文夫
	二瓶吉男	早野礼子	福田ふみ子	船山勝良	前柳ヨシ	村田忠一	森博子	山口紘紀
	山水まさ							
高 峰 16名	井上志げ	井上武雄	井上秀子	小幡フミノ	川口茂夫	佐藤剛	鈴木清子	鈴木ミチ子
	高橋隆夫	林洋子	本間元	本間弘三	本間昭二	矢部みを子	山本エイ子	横山文男
椿 38名	青木静枝	青木典子	安部貞夫	五十峯一郎	伊藤一敬	伊藤幸輔	伊藤清一	伊藤薫男
	岩野清敏	上原ハルヨ	岡文子	岡本輝子	加藤洋子	川嶋トシ子	菅野栄三	後藤キミ
	後藤道子	小林まち	坂本京子	志田清三	清水ハル工	鈴木富三	高橋叔子	高橋弘子
	手塚みよし	長沼忠良	新野豊明	新野捷敏	西村悦子	船山健次	松下信子	松山倉夫
	宮沢みゑ子	森本静江	横山七郎	渡部司郎	渡部武	渡部広		
手ノ子 22名	池田典子	今原幸子	大野シズエ	奥山俊昭	奥山保弘	小池喜美恵	佐藤トキ子	佐村孝作
	佐山七郎	佐山次夫	鈴木貞次	鈴木三男	高石京一	竹田輝夫	竹田元雄	田中二男
	舟山好一	舟山繁勝	巻坂衛	柰代忠恒	横山ユウ子	渡部昭雄		
中 33名	栗飯原操	青木勝美	青木道子	青木しげ子	朝倉重美	朝倉建	安達宮子	位下和子
	石建征子	臼井八重子	菅野義徳	菊地美代子	木村幸子	工藤コウ	左東久子	篠原五郎次
	島貫正十三	島貫浩	城戸かつこ	鈴木昭作	鈴木謙治	高橋英子	田所昌子	長岡信司
	長岡俊昭	錦織明美	福島ミヨ子	村上徳栄	若林敬一	渡部聡征	渡辺さい子	渡部清三
	渡部義男							
中津川 17名	伊藤孝美	伊藤茂数	井上啓助	織田英昭	後藤紀美子	後藤篤志	後藤昭輔	小林克子
	近藤和子	早乙女キヨ子	佐藤栄子	鈴木芳助	引地タミ	丸山光雄	宮城武彦	山口和司
	山口和吉							
萩 生 56名	朝倉栄次	浅間朝子	伊東武義	伊東俊夫	浮谷栄子	宇津木栄三郎	宇津木秀三	梅津文蔵
	海老沢真砂子	宇津木吉美	小浦正一	大家梅子	大山裕子	岡野芳子	小野寺瑠璃子	折原うめ
	粕川鉄男	嘉藤六郎	嘉藤秀一	嘉藤功	菅利夫	組谷のぶ子	黒澤武彦	後藤定夫
	後藤節子	後藤行男	小林スイ	坂田美江子	坂本喜美子	桜井登美子	佐藤晃	佐藤豊子
	柴田かね子	東海林房子	鈴木俊子	高橋勝治	高橋清美	高橋みつ	田口朋子	滝浪とも
	谷口秀子	手塚久良	富永信子	中山淑子	那須キヨ子	長谷川トク	樋口昭三	樋口孝
	廣瀬廣子	藤沢玲子	森田希世	山田正子	吉越京	渡部新吾	渡部とく	渡部博士
役 員 38名	浅野慶吉	池田さだ	井上和雄	今村ひろ子	男鹿善次	小笠原辰男	小川悦男	川合かよ子
	幸田あや子	国分秀高	小関恭雄	佐藤善治	佐藤包子	二瓶孝徳	佐原利博	志田幸次
	志田義雄	島田栄子	鈴木伊勢夫	須藤勝志	高橋正孝	谷本亮司	土田正一	手塚敏浩
	手塚久雄	長沼清	中村美寿	新野孝司	樋口昭二	深瀬忠次	舟山繁太郎	宮城慶吾
	八鍬勝夫	山口弘二	山口美恵子	横山忠雄	吉田キヌヨ	渡部志郎		

計294名 ※会員皆様方のご賛同を頂き、ここに第5号の会報を発行する事が出来ました。
ありがとうございました。

45周年記念総会・涌沼神社（椿）獅子舞写真特集

東京飯豊会メンバーに 勇壮な獅子舞披露 都内椿地区の若連中



東京飯豊会の総会で獅子舞が披露された

飯豊町椿地区の涌沼（正業会長）のメンバーが、東京都荒川区のホテルで開かれた東京飯豊会の総会で獅子舞を披露した。古くから地域に伝わる伝統の獅子舞は、八月の涌沼神社の祭礼で

毎年奉納されている。東京飯豊会が、設立四十五周年を記念した節目の総会に招待。獅子若連中から、十代―四十代のメンバー二十一人が参加した。獅子が静かに登場し、会場内の各テーブルを巡回。口を「パコン、パコン」と鳴らす厄払いをする。総会に出席した町出身者から「懐かしい」「感動した」といった声が上がっていた。

山形新聞 平成18年4月29日付の記事を転載しました。(元写真は白黒)



さては！涌沼神社の御魂か？

ふるさとのなまりも飛び交い なごやかな交換風景



まっちゃんつし
納豆餅いっぱい
つくってっからよ

よくござったなつし

祝才45回東京飯豊会総会

ハイ 777番さん3億円当たりましたよー
いませんかー 間もなく無効ですよー



おだちして
あがやつとごやえ

「ふるさと」の大合唱

うさぎおーいし かのやまー
こぶなつーいし かのかわー



＝ 会員の皆さん、ふるさと飯豊にお帰りの節はぜひお立寄り下さい ＝

22歳女性杜氏(とうじ)誕生!!
 どぶろく特区の里飯豊町。平成18年、中津川のどぶろくは女性杜氏がどぶろくを造ることとなりました。
 フォレスト勤務、地元在住の高橋千佳が造ります。今回使用するお米は「はなの米」精米歩合を50%まで磨きこみ、たっぷり時間と手間をかけました。東京飯豊会の皆さん、ぜひ飲みに来て下さい。



山形県西置賜郡飯豊町大字須郷421-1 ■米沢駅・赤湯駅より送迎賜ります。
 TEL. 0238-78-0010 FAX. 0238-78-0020 ■1泊2食 9,240円～

|| めざみの里 観光物産館 ||

物産館

多大な自然と厚い人情が守り伝えてきた味と技のぬくもりあふれる故郷の特産品、銘産品が揃いました。また、飯豊町が開発したオリジナルグッズもぜひご利用ください。

野菜コーナー

四季おりおり食卓をにぎわせる豊かな山野の幸。とれたての新鮮さを集めて、販売しております。

めざみの里観光いちご園

〈開園期間〉
12月下旬～6月下旬

品種は甘～いばとちおとめ、ほおぼると口の中心に赤いあせが広がります。

2F コンベンションホール

カウベル亭 田中

わいわいパレット

民工芸コーナー

フロント

レストラン 入口

館内案内図

山形県西置賜郡飯豊町 1113号

おいしいもの交差点

いいでの魅力を一同に集めた旅のスポット!

1F レストラン街

広くて明るい店内!

ファミリレストラン

わいわいパレット 84円(税込)

多彩な洋風メニュー、定食など、気軽に楽しめるおいしさがいっぱい、ファミリーにうれしいレストランです。

250円(税込)

2F コンベンションホール

シェラート、牛くし風、山椒そば、ラーメンなど、飯豊らしさが楽しいファーストフード店が揃いました。

めざみの里 観光物産館

おいしいもの交差点

山形県西置賜郡飯豊町

1F レストラン街

84円(税込)

60円(税込)

250円(税込)

2F コンベンションホール